2017(平成 29)年度 貸借対照表 (2018[平成 30]年 3 月 31 日)

(単位:円)

4V 🖂	火左床	サ た広	(単位:円)
科目	当年度	前年度	差 額
I. 資産の部			
1. 流動資産	107,934,227	70,867,397	37,066,830
現金預金	106,023,488	63,401,770	42,621,718
貯蔵品	340,704	351,932	-11,228
立替金	40,366	3,996	36,370
未収入金	830,740	187,200	643,540
仮払金	698,929	6,922,499	-6,223,570
2. 固定資産	13,387,070,214	13,508,690,181	-121,619,967
(1)基本財産	2,126,864	2,126,864	0
建物	2,121,755	2,121,755	0
収蔵品	5,109	5,109	0
(2)特定資産	12,373,924,513	12,459,797,773	-85,873,260
退職給付引当資産	70,277,000	78,247,000	-7,970,000
役員退職慰労引当資産	14,390,000	12,496,000	1,894,000
公益事業運営財産	10,341,387,013	10,333,898,273	7,488,740
管理業務運営財産	1,947,870,500	2,035,156,500	-87,286,000
(3)その他固定資産	1,011,018,837	1,046,765,544	-35,746,707
有形固定資産	992,992,788	1,030,014,227	-37,021,439
建物	911,831,371	940,847,074	-29,015,703
建物付属設備	71,820,931	79,359,837	-7,538,906
構築物	737,225	775,653	-38,428
什器備品	8,603,261	9,031,663	-428,402
ソフトウエア	17,913,049	16,638,317	1,274,732
保証金	113,000	113,000	0
資産合計	13,495,004,441	13,579,557,578	-84,553,137
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債	23,961,475	27,341,599	-3,380,124
未払金	12,685,130	17,254,787	-4,569,657
前受金	70,000	70,000	0
預り金	3,005,464	978,148	2,027,316
仮受金	4,750	0	4,750
賞与引当金	8,196,131	9,038,664	-842,533
2. 固定負債	84,667,000	90,743,000	-6,076,000
退職給付引当金	70,277,000	78,247,000	-7,970,000
役員退職慰労引当金	14,390,000	12,496,000	1,894,000
負債合計	108,628,475	118,084,599	-9,456,124
Ⅲ. 正味財産の部			
正味財産	13,386,375,966	13,461,472,979	-75,097,013
(うち基本財産への充当額)	(2,126,864)	(2,126,864)	0
(うち特定資産への充当額)	(12,289,257,513)	(12,369,054,773)	-79,797,260
負債及び正味財産合計	13,495,004,441	13,579,557,578	-84,553,137
ハスグ・サルバルロロ	10, 100,001,111	10,010,001,010	04,000,101

公益財団法人渋沢栄一記念財団

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準および評価方法 時価のあるもの・・・時価法 時価のないもの・・・移動平均法による原価法

(2)固定資産の減価償却の方法

建物・・・定額法建物附属設備・・・定額法構築物・・・定額法件器備品・・・定額法ソフトウェア・・・定額法

(3) 引当金の計上基準

賞 与 引 当 金・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上しております。 退職給付引当金・・・・職員の退職給付に備えるため、当事業年度末要支給額を計上しております。 役員退職慰労引当金・・役員の退職慰労金の支給に備えるため、当事業年度末要支給額を計上しております。

(4)消費税等の会計処理は

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額 当期減少額		当期末残高
基本財産				
建物	2,121,755	0	0	2,121,755
収蔵品	5,109	0	0	5,109
小 計	2,126,864	0	0	2,126,864
特定資産				
退職給付引当資産	78,247,000	7,709,000	15,679,000	70,277,000
役員退職慰労引当資産	12,496,000	1,894,000	0	14,390,000
公益事業運営財産	10,333,898,273	3,638,337,382	3,630,848,642	10,341,387,013
管理業務運営財産	2,035,156,500	1,096,758,000	1,184,044,000	1,947,870,500
小 計	12,459,797,773	4,744,698,382	4,830,571,642	12,373,924,513
合 計	12,461,924,637	4,744,698,382	4,830,571,642	12,376,051,377

3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

				<u> </u>
科目	当期末残高	(うち指定正味財産か	(うち一般正味財産か	(うち負債に対応する
11 🛱	→ /91/(√/X)H1	らの充当額)	らの充当額)	額)
基本財産				
建物	2,121,755	0	2,121,755	0
収蔵品	5,109	0	5,109	0
小 計	2,126,864	0	2,126,864	0
特定資産				
退職給付引当資産	70,277,000	0	0	70,277,000
役員退職慰労引当資産	14,390,000	0	0	14,390,000
公益事業運営財産	10,341,387,013	0	10,341,387,013	0
管理業務運営財産	1,947,870,500	0	1,947,870,500	0
小 計	12,373,924,513	0	12,289,257,513	84,667,000
合 計	12,376,051,377	0	12,291,384,377	84,667,000

公益財団法人渋沢栄一記念財団

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	
建物	1,415,710,095	501,756,969	913,953,126	
建物附属設備	311,289,385	239,468,454	71,820,931	
構築物	2,205,242	1,468,017	737,225	
什器備品	175,936,892	167,333,631	8,603,261	
合 計	1,905,141,614	910,027,071	995,114,543	

- 5. 金融商品の状況に関する注記
- (1)金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、国債、公社債、仕組債、外債、株式、投資ファンド等、により資産運用する。

(2)金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、国債、公社債、仕組債、外債、株式、投資ファンド等であり、発行体の信用リスク、市場 リスク(金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク)にさらされている。

- (3)金融商品のリスクに係る管理体制
- ①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

②信用リスク及び市場リスクの管理

債券については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。 株式については時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

投資ファンド等については、関連する市場の動向を定期的に把握し、運用状況を理事会に報告する。

公益財団法人渋沢栄一記念財団

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、内容の記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

	期首残高		当期減少額		期末残高
科目	(平成 29 年 4 月 1 日 現在)	当期増加額	目的使用	その他	(平成 30 年 3 月 31 日現在)
賞与引当金	9,038,664	8,196,131	9,038,664	0	8,196,131
退職給付引当金	78,247,000	7,709,000	15,679,000	0	70,277,000
役員退職慰労引当金	12,496,000	1,894,000	0	0	14,390,000